

令和2年11月定例教育委員会会議録

令和2年11月3日 定例熊谷市教育委員会を大里生涯学習センター研修室に招集する。

○ 出席者

野原 晃、齋藤 洪太、西山 富由紀、大石 聡一、加藤 道子

○ 出席事務局

| | |
|--------------------|--------|
| 教育次長 | 田島 齊 |
| 教育総務課長 | 長谷川 和博 |
| 教育総務課施設管理 担当副参事 | 田谷 憲司 |
| 学校教育課長 | 長谷部 巧 |
| 社会教育課長 | 三友 孝二 |
| 教育総務課副課長 | 橋本 明美 |
| 教育総務課主任 | 吉場 美和 |

11時20分 11月定例教育委員会開会

教育長が、令和2年11月定例熊谷市教育委員会の開会を宣言し、本会議の会議録の署名人に西山委員を指名した。

事務局から傍聴希望者がいない旨の報告があった。

10月定例教育委員会の会議録については出席委員全員の承認を得た。

教育長から、公式な結果ではないため、報告第11-4号は非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で行われることに決定した。

日程第1（報告第11-1号）寄附申出について

教育総務課長から、ふるさと納税「熊谷教育の推進のため」として、9月11日から10月10日までに9件、計15万5千円の寄付申出と、匿名の方より「育英資金貸付金のため」として、現金100万円の寄附申出があったとの報告があった。

また、江南文化財センター所管分の寄附申出として、匿名の方より「木彫大仏坐像の保存のため」、現金10万円の寄附があったとの報告があった。

日程第1（報告第11-2号）11月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、次回12月定例教育委員会は、11月25日（水）開催であることが説明された。

日程第1（報告第11-3号）成田小学校・星宮小学校の統合について

教育総務課施設管理担当副参事から、両校の統合について今年度の進捗状況の報告があった。

2校の統合は、令和5年4月に、現在の成田小の位置で、新たな学校としてスタートする。統合に当たっては、校名や校歌、スクールバス導入など、様々な準備が必要となることから、新校設立の準備委員会を設置し、遅くとも、統合の1年前までに決めるべきことを決定するとの説明があった。この準備委員会には、検討する内容ごとに部会を設置し、それぞれの部会で検討した内容を準備委員会に報告、準備委員会でその内容を協議し、最終的に市が決定をする流れとなる。

今年度の準備委員会及び検討部会の具体的な取組みとして、まず準備委員会では、委員長、副委員長の選出、令和2年度は学校運営部会及び通学部会の2部会を設置すること、校名とスクールバスの乗降場所について検討を進めることなどについて、決定がされた。

学校運営部会では、校名の選定について協議を行い、選定に当たっては、成田及び星宮小学校区に居住する方を対象に校名を募集すること、応募の中から部会で絞り込みを行い、準備委員会へ報告することなどを決定した。公募結果は、有効応募総数442件、49の校名案の応募があり、部会での協議の結果、9案まで絞り込みを行った。

スクールバスの乗降場所については、通学部会において、学校・公民館の2箇所以外の候補地についても意見が出ており、周辺の道路状況や安全性の確保の可否について、引き続き協議を行っていく予定となっている。

（質疑）西山委員より、9案に絞り込まれた校名案は、最終的にはどのように決定されるのか、との質疑があり、施設管理担当副参事から、このあとの準備委員会でこの9案の中からさらに3～5案程度に絞り込み、最終的な決定は市が行うとの回答があった。

（その他）後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、9月16日から10月15日までに、後援等承認決定した事業が7件あったとの報告があった。

（その他）「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

学校教育課長から、中央教育審議会初等中等教育分科会が今年10月に公表した中間まとめをもとに、今後実現すべき「令和の日本型学校教育」について説明があった。

昨今の学校教育現場の課題として、本来家庭や地域で子どもたちが身につけるべ

き資質の習得が、学校生活に委ねられていること、子どもたちの学習意欲の低下、長時間勤務による教師の疲弊と教師不足、新型コロナウイルス感染症への感染予防対策と教育活動の両立などが挙げられる。

こうした中、「令和の日本型学校教育」の新しい姿として、子どもたち一人ひとりの伸びしろに合わせた「指導の個別化・学習の個性化」と、知・徳・体を一体的に育むため、教師と児童生徒、児童生徒同士の関わり合いを通して、主体的・対話的で深い学び、いわゆるアクティブラーニングの「協働的な学び」とを、バランスよく取り入れていくことが求められ、本市でかねてより実践されているラウンドシステムは、まさにこの「協働的な学び」に則しているものであるとの説明がされた。

その他、教科横断的な学習への取組み、教科担任制の導入や特別支援教育の充実、外国人児童生徒への支援、ICT教育の推進などについて、今回の中間まとめで示されている。

現在本市では、県からの委嘱を受けて、外国人親子と地域住民とのつながりを支援するモデル事業を実施しており、GIGAスクール構想に基づくICT教育導入の準備にも取り組んでいることが報告された。

日程第1（報告第11－4号）

（非公開）

他に報告はなく、教育長の宣言により、令和2年11月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

（11時50分 閉会）

署名 教育長 野原 晃

委員 西山 富由紀